

---

# 大好きやったひと

美雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大好きやつたひと

### 【Zコード】

Z5272A

### 【作者名】

美雪

### 【あらすじ】

だいぶ前の話やけど、あたしには大好きなひとがおつてん。叶わんかった恋の話、聞いてくれへん？

大好きなひとがいてん。

あたしは、そのひとのことほんまにほんまに、好きやつてん。  
照れ屋なあたしは素直になれんくて、そのひとと喋る時は悪態ばつ  
かついてた。

ある時

『お前口悪いんぢやつ』

つてだけ言ってそのひとがどっかいつちやつてな。  
あたし強がつても気にしいでびびりな上に泣き虫やねん。  
すごいショックでなんか勝手に涙でてきて…  
どうしようもなくなつて勢いでメール送つてん。

『ごめん』つてだけ打つて。

速攻でメール返つて来てな、

『はあ?なんの話よ?笑』

つて。

気抜け余計涙とまらんくなつたわ。

次の日学校で会つてあたしすゞい勇氣出してさあ、ゆつてん。

『あんな、あたし口悪いからめぢやキツいことゆつてしまつたび全然  
本心とぢやうから』

つて。

『わかってるわ、そんなん。俺のことアホやと思てるんか?』

笑いながらそのひとはゆはつた。

当たり前のことやん、て顔して。

嬉しくて嬉しくて、あたしその日一日笑つてた。

だんだん時間たつにつれてあたしの気持ち大きくなつて、押さえられなくなつていった。

『大好きやねん』

そしてと「うとうあたしは気持ちをぶつけた。

ほんま驚いた顔したあとあのひとは困った顔してゆいはつた。

『めちゃ嬉しいわ。ほんま嬉しいで。そやけど…お前とはずっと友達でいたいねん』

わかつてた答えでも実際聞くとショックやねんな。それでも必死で笑顔作つてゆつた。

『しゃあないなあ。友達でいたるわ』

ほんま素直ちやうやる。

それでもあのひとにはあたしが涙じらえてるんなんかお見通しやつた。

そんで、それに気づかんふりしてほしにって思つてんのも。

『ほんま可愛い女やなあ』

わざと大袈裟にあきれたふりしてくれはつた。

あたしの涙見んよつに背中向けてくれはつた。

『俺、お前彼女にはしたれへんけど、大好きやで』 そつぬうひとあのひとは振り返らんで行きはつた。

あたしの大好きなひとの話はこゝでおしまい。

だいぶ前の話やのに今でも思いだす度、胸の奥のこゝが痛くなつて、でもなんか暖かくなるねん。

きつとそれは、あたしがあのひとをほんまにほんまに強く好きやつたからで、あのひとがあたしをちゃんと受け止めてくれはつたからやと思つねん。

ひとをすつじい好きになつてしまつて、しんどいことも辛いこともおまけに涙もじつぱじ出てくるけど、そんなん出た後に残るんは、ほんのくすりと強くなつた自分と…… 暖かい想い出やと、あたしは思

۹۵

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5272a/>

---

大好きやったひと

2010年11月20日03時20分発行